

一この頃

かたはとオヤジの
夢を見るのだ。

白 パン 屋



山田洋次監督作品

椎名誠原作

「倉庫作業員」より(文藝春秋社刊)

三國連太郎

永瀬正敏

和久井映見

原田美枝子

田中隆三

浅田美代子

山口良一

浅利香津代

ケーシー高峰

いかりや長介

佐藤B作

奈良岡朋子

音無美紀子

浜村純

中村メイコ

松村達雄

田中邦衛

総指揮/大谷信義
プロデューサー/中川滋弘

深澤 宏

脚本/山田洋次

朝間義隆

撮影/高羽哲夫

美術/出川三男

音楽/松村禎三

協力/キリンビール株式会社

三三五貨物自動車運送株式会社

製作/松竹映像株式会社

配給/松竹株式会社

イメージソング/中島みゆき

「With」
(ポニーキャニオン)

題字・楠 莫山

DOLBY STEREO



椎名誠ワールドを名匠・山田洋次が映像化。
 〈父〉と〈息子〉とは何か、幸福とは何かを
 問いかける感動作の誕生!

「作りたい映画がある。そして作らねばならない映画もある。両者のモチーフはなかなか重なりにくいものだが、ぼくにあって『息子』は、それが重ね合わせられる、数少ないケースである、と信じている」
 山田洋次



● あなたは最近、親父の夢を見ましたか？



・「男にとって、『親父』というのは、特別な存在で、やがては自分もその『親父』になつていく。その喜びや悲しみ、そして怒りという、人間の感情の基本的なものを、親父はそつくり自分の背後に抱え持っていてくれる。それに気づいた時の青年って、一番いい状況にいるのではないだろうか。僕は、物を書く時に、その時期の人間の心の揺れ動きをどう描けるか、いつも考えながら書いていっているような気がします。そして『息子』はそんなことを思い出させてくれる映画です」

(椎名 誠)



・「思春期から青年期にかけての親父に対する反発とか、憎しみのようなものは、多くの場合随分続きましたねえ。親父を人間として愛さなければならぬとわかっていながら、顔を見るときつい反発してしまう。もっと優しい言葉をかけてやるべきだったと、死んでから悔やんです」

(山田洋次)

息子

■ 解説・物語

「家族」「故郷」そして「幸福の黄色いハンカチ」。今や国民映画と呼ばれる「寅さんシリーズ」を作り続けている山田洋次が描き出す、もうひとつの、情感溢れる魅惑的な世界。男親と息子との、どこか悲しいまでのギクシャクした関係。息子の自立は父親にとっては裏切りともなり、時としてはその若さへの理由のない嫉妬ともなる。息子の父親に対する反発、拒否、抵抗。そしていつかお互いに人間として認め合い、理解し合う時を憧れるように待ち望みながら、それが得られないのは、父と息子の宿命なのであるうか。

人と人がぶつかり合う力強さの中で、そして透明感に満ちたやさしさの中で、映画「息子」は、反発し合う父と息子が、やがて互いを認め合い、擦り合わせていくまでを描いた感動の名篇である。父親(三國連太郎)はいま、妻に先立たれて若手の芽ぶきの家にひとり暮し。三人の子供たちはそれぞれ東京へ、結婚へと独立している。かつての賑いはこの大きな家にはもうない。父親の悩みは東京に住む末っ子の息子・哲夫(永瀬正敏)のことだ。定職もなく、「ブリーアルバイター」で気ままに生活していることが気になる。そんな生活をたしなめられ、哲夫と父はさらに大きな溝をつくるのだった。しかし子供たちにとって、この父親の老後は大きな悩みの種である。「親父の今後をどうするか。母の一周忌に集まった子供たちは、いつかはさつと訪れる父親の悲劇に何ら解決策を得ぬまま、それぞれ自分たちの生活に戻っていくのだった。末っ子の哲夫は、下町の工場で働くうち、可憐な娘(和久井映見)に激しい恋をする。そして、誰かの為に働くことの喜びを見出し、やがてさらに大きな喜びとなって、父親に選ばれるのだった。」

原作は椎名誠の「倉庫作業員」(文藝春秋刊)。映画は三章から成るが、第二章の「息子の恋」がこの原作をベースに描かれ、さらに第一章と第三章を山田洋次が肉付けし、父と息子という関係を見事に浮き彫りにした。

また、ロケーション撮影は、若手と東京で長期にわたって行われた。移り変わる北国の四季の詩情と、無機質な東京の都会の風景の対比をうまく折り込んで、素晴らしい効果を上げている。出演者は、父親・浅野昭男に、重厚な存在感で三國連太郎。息子・哲夫に「ミスティー・トレン」でジム・ジャームズ監督の抜擢をうけ、目覚ましい躍進をうけている若手俳優・永瀬正敏。哲夫の恋人・川島征子に「就職戦線異常なし」などで、今もっともセンシティブな女優・和久井映見。また脇を固める俳優陣も、日本映画界を代表する多数の役者揃え、映画に厚みを持たせている。

90年代……。すさまじい勢いで変貌していく日本の現実の中で、唯一変わらないものを探しあてた父と息子。ほんとうの幸福とは何かを大きく問いかける名作の誕生である。

《受付期間》 8/26～9/20

お申し込み方法

OCR注文用紙に右記の申込番号をご記入下さい。
 東都生協 生活文化事業部 ☎3480-1661

10月12日(土)迄全国松竹系ロードショー

	組合員価格(消費税抜)	OCR申込番号
一般	1166円	8945
学生	1068円	8952

